

# J-STAGE 編集登載システム 新機能リリースノート

令和2年 9月



科学技術振興機構

情報基盤事業部 研究成果情報グループ

# 新機能リリースの目的

■ J-STAGEでは、中長期戦略\*1で定めた基本姿勢に基づく取り組みとして世界標準となっている全文XML化の推進を行っており、その一環として「全文XML作成ツール」をリリース致します。

全文XML形式での論文登載が進むことにより閲覧性が向上し、論文情報の分析や他システムとの連携が容易になることが期待され、論文等の利活用の促進、ひいては研究成果の一層のプレゼンス向上が期待できます。

■ また発行機関からの要望を受けて「PMC\*2、DOAJ\*3形式ファイルダウンロード機能」「早期公開版管理機能」を、また研究成果論文の閲覧促進やオープンサイエンスの推進にも資するため「抄録ライセンスフラグ項目追加」をリリースします。

\*1)「我が国のジャーナルの振興に向けたJ-STAGE中長期戦略」(2019年3月)

[https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub\\_JstageStrategy2019.pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_JstageStrategy2019.pdf)

\*2) PMCとは、米国の国立生物工学情報センター(NCBI)が運営する生物医学・生命科学のオンライン論文アーカイブです。

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/>

\*3) DOAJ(Directory of Open Access Journals)とは、英国の非営利団体であるIS40Aが運営する独自の基準を満たすオープンアクセスジャーナルと論文の情報が掲載されたウェブサイトです。 <https://doaj.org/>

# リリース概要

---

■リリース日 **令和2年9月26日(土)**

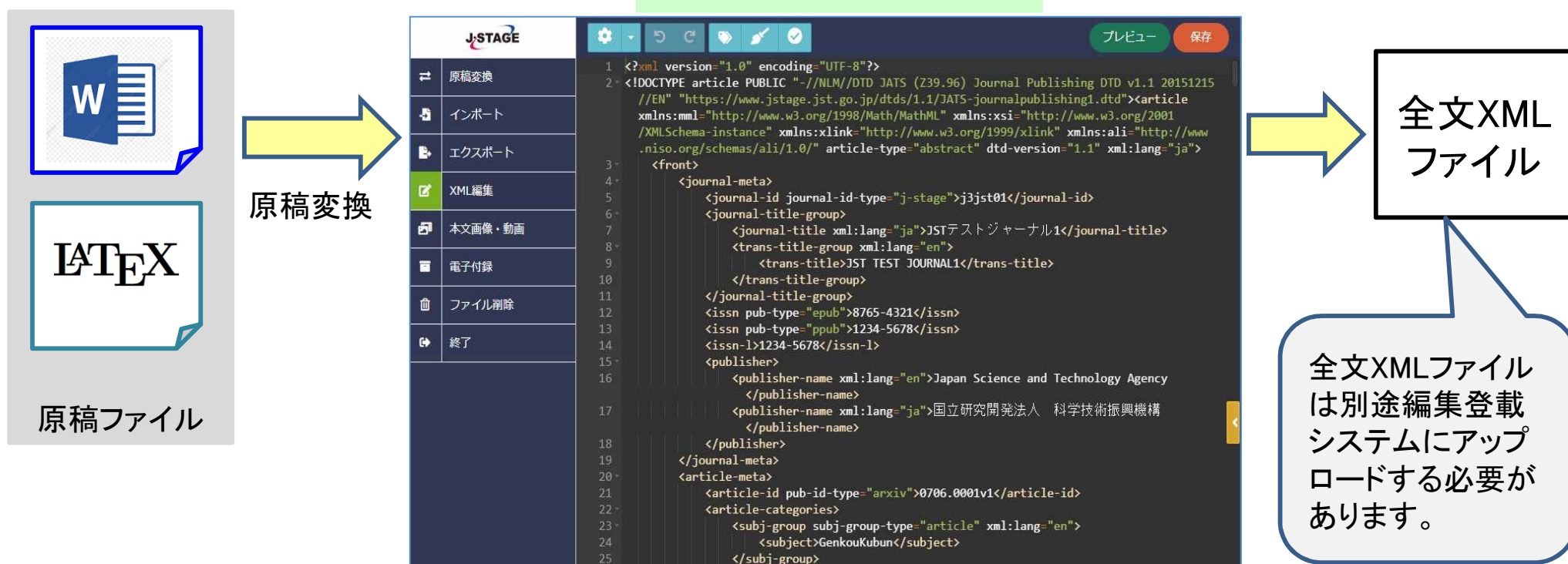
■リリース機能

1. 全文XML作成ツール
2. PMC、DOAJ形式ファイル ダウンロード機能
3. 早期公開版管理機能
4. 抄録ライセンスフラグ項目追加

# 1. 全文XML作成ツール

WordもしくはLaTeX形式の原稿ファイルを元に、J-STAGEに登載できる全文XMLファイルを作成・編集できるツールです。

## 全文XML作成ツール



- 原稿ファイルを元にXMLデータが生成されます。
- その後ツール上でXMLを確認・編集します。
- ツール内にプレビュー機能があり、J-STAGEの公開画面イメージを確認できます。
- 全文XML作成ツールの詳細は「[J-STAGE全文XML作成ツール利用者向け操作マニュアル](#)」を参照。

## 2. PMC、DOAJ形式ファイル ダウンロード機能

J-STAGEに登載済みの記事データより、PMC、DOAJに対応した形式のXMLファイルをダウンロードできます。

### XML登載 - 記事作成・管理

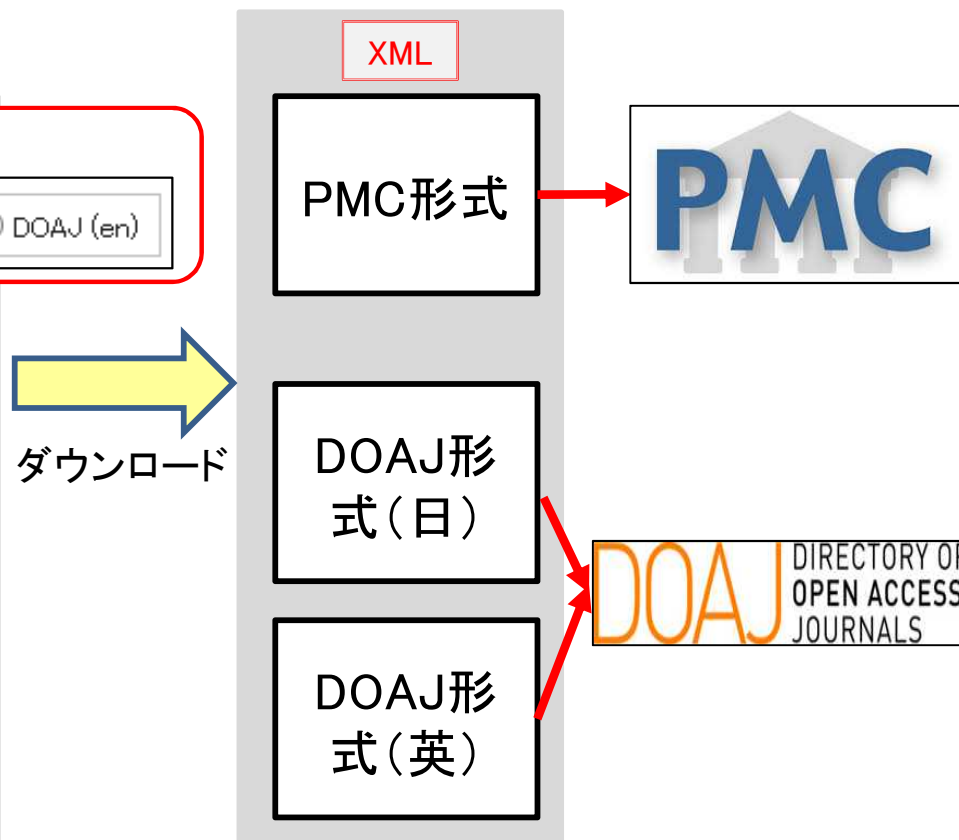
The screenshot shows the article management interface with a red box highlighting the download options: **ダウンロード**  J-STAGE  PMC  DOAJ (ja)  DOAJ (en). A yellow arrow points from this box to the right. Another red box highlights the article details, including the **XML形式** and **全文XML** options.

形式を選択してダウンロード

ダウンロード  J-STAGE  PMC  DOAJ (ja)  DOAJ (en)

登録したXML形式を確認可能

XML形式 全文XML

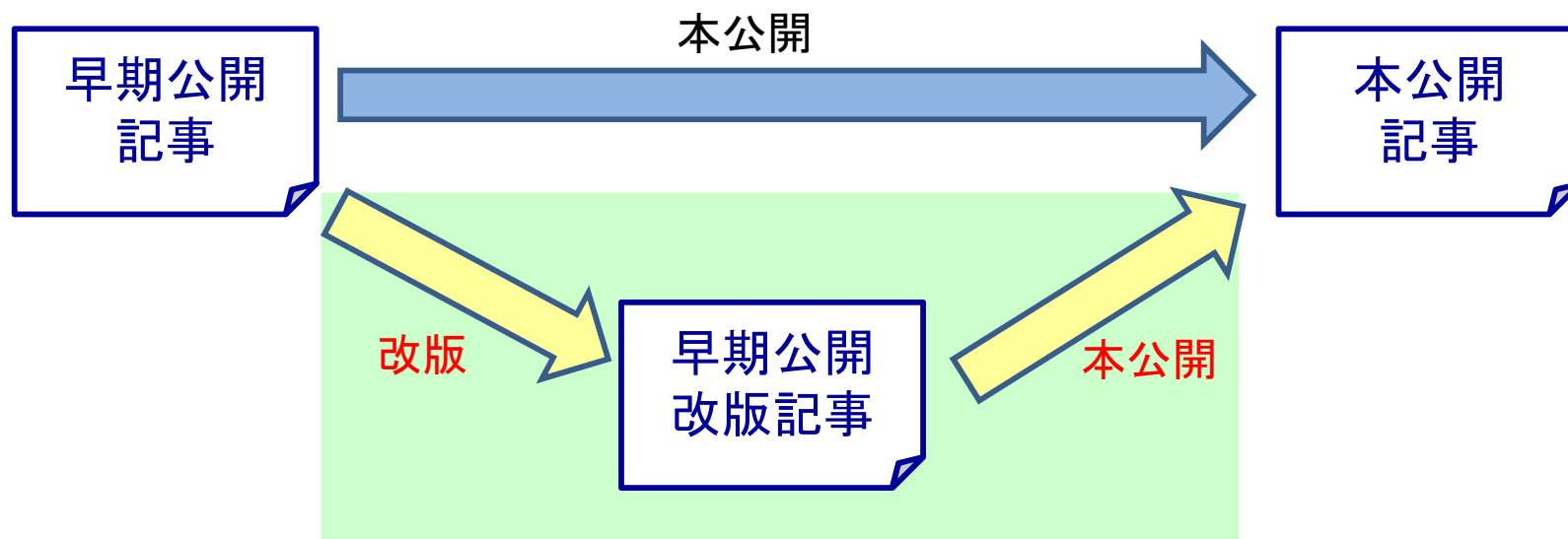


- PMC、DOAJ(ja)、DOAJ(en)の形式を選択してダウンロードする機能を追加します。
- PMC形式は資料がPMCで審査・採択されており**全文XML形式**で登載された記事のみ利用可能です。

- PMC、DOAJへのアップロードに利用可能です。
- 各ダウンロードファイル形式の詳細は以下の項目一覧を参照。 [\[PMC項目一覧\]](#) [\[DOAJ項目一覧\]](#)

# 3. 早期公開版管理機能

早期公開記事の改版記事を登載・公開できます。



- 早期公開記事のアクセプト版からタイプセット版への差し替え等、記事の体裁の変更などの改訂を行う用途で利用できます。
- 早期公開、早期公開の改版記事、本公開記事は全て同じDOIを付与します。
- 従来通り、改版記事の公開を行わずに本公開記事を公開することも可能です。
- 早期公開および早期公開版管理機能はXML登載サービスのみ利用可能です。
- 改版記事の登載・公開の手順は「[リリースノート別紙1-早期公開版管理手順](#)」を参照。

# 3. 早期公開版管理機能

早期公開改版記事では、書誌画面に「版名」、「版毎の公開日」、「改版履歴」等の情報が表示されるようになります。

## 改版記事の書誌画面

The screenshot displays a journal article page with the following elements:

- Article title: テスト論文タイトル
- Author: 科学 太郎
- Buttons: ジャーナル, オープンアクセス, 早期公開
- Article ID: 論文ID: XXXXX
- DOI: <https://doi.org/10.XXXX/XXXXXXXXXX>
- Version list (highlighted with a red box):
  - version.2 : 2020/08/18
  - version.1 : 2020/07/04
- Details section (expanded):
  - 発行日: 2020 年
  - J-STAGE公開日: 2020/07/04
  - 早期公開
    - [ version.2 ] 公開日:2020/08/18
    - [ version.1 ] 公開日:2020/07/04
- Revision information (highlighted with a red box):
  - 改版日: YYYY/MM/DD
  - 改版理由: 版が更新されました。
  - 改版箇所: 書誌事項,本文PDF
  - 改版内容: -

- ・版名がリンクになって表示
- ・版名リンクから改版前の記事を参照可能。
- ・各版の公開日が表示

- ・版毎の公開日が表示

- ・改版履歴が表示

# 4. 抄録ライセンスフラグ項目追加

抄録ライセンスフラグとは、各記事の抄録の二次利用について可・不可の設定を行うフラグです。

■抄録ライセンスフラグは、JaLC(ジャパンリンクセンター)を經由してJaLCの正会員・連携機関以外の第三者\*1へ抄録を提供する際に、同フラグを付与することで抄録の利用許諾を示すことができます\*2。抄録の第三者への利用を許諾することで、論文へのアクセス数増加や、その結果として研究成果のプレゼンスの向上が大きく期待されます。

\*1)JaLCの正会員・連携機関は、JaLCの参加規約により全ての抄録の利用が認められています。抄録ライセンスフラグはそれ以外の第三者への利用に対する許諾となります。

\*2)2020年9月の本機能リリース時点ではJaLCの抄録および抄録ライセンスフラグ提供機能は未実装です。2020年度内に実装予定です。

■抄録ライセンスフラグを”二次利用可”にした場合、将来的な構想として抄録の機械翻訳等のデータ加工で活用することを検討しています。



■本機能リリース時では記事の抄録ライセンスフラグは”二次利用不可”の状態で行います。

“二次利用可”に登録・変更を行う手順については「[リリースノート別紙2-抄録ライセンスフラグ設定手順](#)」を参照。



# 補足情報

本件に関する質問等は下記までお問い合わせください。

JST(科学技術振興機構)情報基盤事業部  
J-STAGE センター

メールアドレス: [center@jstage.jst.go.jp](mailto:center@jstage.jst.go.jp)